

環境の総合評価システムと計画手法の確立に関する基礎研究

(文部省科学研究費補助金環境科学特別研究) 代表者 内藤正明

分担課題 自然環境評価手法の確立

総括：河村 武

研究分担者	教授	岩城 英夫 (生物科学系)
	教授	辰巳 修三 (農林学系)
	教授	河村 武 (地球科学系)
	教授	山口 誠哉 (社会医学系)
	教授	石塚 皓造 (応用生物化学系)

昭和53年度は、初年度である。本研究の目的は「環境の質」を高める施策の基礎として、第1に環境の状態を診断するための総合的評価手法の確立、第2にそれと連動した具体的な環境計画手法の開発を行うことである。分担課題はこのうちの自然環境を対象に、その評価手法の確立に関する研究で、主として鹿島臨海工業地域を対象に、過去の調査等を文献によって調べ、評価手法の見直しと検討を行った。

昭和54年度は、同上環境科学特別研究に申請した「地域環境の総合診断評価手法の確立に関する研究」(代表者 河村 武)によって、これまでわが国で実施されてきた環境開発の大型プロジェクトの成果を収集し、検討するとともに、専門分野ごとの環境診断手法のレビューと、その総合診断手法の確立上の問題点を明らかにする予定である。